

学生チャレンジ・サポート制度応募要領（2012年度）

学生チャレンジ・サポート制度について

◎この制度は、正課外（単位となるゼミや授業以外）活動の中で、知的好奇心を充足させる活動や社会的貢献を果たそうとする活動を支援するために発足した制度です。学生ならではの視点（オリジナリティー）を持ち、学生の力がフルに生かせる企画で、「ヤル気はあるけど、資金が足りない」「もっと資金があれば、より充実した活動ができる」活動であれば、積極的に応募してください。

■応募の対象となる活動

- （1）文化・学術面における多様な知的好奇心・探究心を充足させる活動
- （2）福祉活動、環境問題への取り組み等、社会的貢献を果たそうとする活動

■助成金額

上限20万円

■応募資格

法政大学学部生および通信教育部に在籍する学生であれば、誰でも応募できます（個人または親しい仲間・クラブ・サークルなどの団体）。

■応募期間

2012年6月29日（金）まで

■企画の実施期間

2012年度中（2013年3月まで）の活動実施・完了とします。

■応募書類の提出方法

上記期間内に、応募者が所属するキャンパスの学生センター窓口へ直接提出してください。

■スケジュール

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| 6月29日 | 活動計画書・活動予算書提出期限 |
| 7月中旬 | チャレンジ・サポート審査委員会開催、チャレンジ・サポート採用者決定 |
| 7月下旬 | 採用・不採用通知発送、（採用者のみ）助成金振込方法のお知らせ・誓約書発送 |
| 8月上旬～ | （採用者のみ）助成金振込 |
| 翌年3月末 | （採用者のみ）活動報告書および予算報告書提出 |

※一旦提出した書類は返却いたしませんのでご注意ください。

■採択者に課せられる義務について

採用者は全員、企画を実施する義務が生じます。また企画終了後、3月末までに「実施報告書」と「予算報告書」を提出する義務があります。

■応募方法について

別紙「学生チャレンジ・サポート応募にあたって」を必ず読んでください。

[問い合わせ先]

【市ヶ谷キャンパス・通信教育生】 学生センター市ヶ谷学生生活課 03-3264-9484

【多摩キャンパス】 学生センター多摩学生生活課 042-783-2157

【小金井キャンパス】 学生センター小金井学生生活課 042-387-6011

※窓口では、応募者のご相談に随時応じています。お気軽にご相談ください。

学生チャレンジ・サポート応募にあたって

2012年4月 学生センター

■活動計画書・活動予算書を作成する前に必ず読んでください。

<応募の対象とならないもの>

- (1) 大学の協力を前提とする活動や、大学の制度・政策・施設に関してその変更を前提とする活動
- (2) 正課（ゼミや授業）の活動、単位に関わる活動
※正課（ゼミや授業）に関する論文については、法政大学懸賞論文制度の応募をお勧めします
- (3) 既に終了している活動
※活動が企画実施期間を超えて継続する場合については、期間内に実施する活動部分を実施内容として応募することは可能
- (4) 海外の危険地域へ渡航する活動（外務省海外安全ホームページを参照）
- (5) 場所を問わず、著しく危険が伴う活動
- (6) 本制度以外から多額の支援が期待される活動、助成金がなくてもできる活動
- (7) 学業に支障をきたす活動（授業期間中に長期間海外に滞在する等）
- (8) 匿名での応募、学内外の広報に協力できない活動
- (9) その他、助成にふさわしくないと選考委員会が判断する活動

<採用について評価が低くなるもの>

- (1) 学生の関与が低い活動
(例) 企業やNPO法人などのイベントや企画に、単に参加しているだけの活動など
- (2) 個人のスキルアップが主目的である活動
(例) 個人のコンテスト出場資金や、海外渡航費など旅行資金を主とする活動など
- (3) 毎年同じ内容の活動を繰り返している活動
(例) サークルや団体等の定例行事で、毎年内容がほとんど変わらない活動など
- (4) 計画書が実現性に欠け、成果が読みとりにくい活動
(例) 実現が明らかに難しい活動や未確定部分が多い活動。何が目的なのか不明な活動など
- (5) 活動計画書や活動予算書の内容が不明瞭な活動
(例) 計画書の内容が抽象的すぎる活動、予算書の内容があいまいな活動など

【重要】以下の5点を、評価する際に考慮に入れます（ポイント制）

- ①計画性／実現性
- ②チャレンジ度
- ③社会貢献度／学内貢献度
- ④行動力／コミュニケーション力
- ⑤プレゼンテーション力

※なお、市ヶ谷キャンパスでは、過去5年間の採用実績を調べ、新規の企画に対しては評価の際に点数加算をし、優先的に採用するようにしています。

■活動計画書・活動予算書の作成方法

【提出書類】

- ①活動計画書〈活動者データA4で1～2枚、活動内容A4で2～3枚〉
+（あれば）関連資料〈A4で2枚以内に貼付もしくは添付2点まで〉
 - ②活動予算書〈A4で1枚〉
- ※①②とも、所定のフォーマットにて作成すること

1. 記入にあたっての留意点（活動計画書・活動予算書 共通事項）

- (1) 必ずWORDまたはEXCELで作成してください（手書き不可）。
- (2) 「活動計画書」「活動予算書」のフォーマットデータは、以下からダウンロードできます

【フォーマットのダウンロード方法】

- ①法政大学HP（<http://www.hosei.ac.jp>）トップページの中段の「キャンパスライフ」をクリック
- ②「課外活動」の「学生チャレンジ・サポート制度」をクリック
- ③開いたページから、応募書類をダウンロード（WORD形式）

- (3) 「活動計画書」「活動予算書」を紙ベースで入手したい場合は、各キャンパス学生生活課窓口にて配付しています。

2. 活動計画書の具体的な書き方

活動者データは、正確に記載してください。活動内容は、選考委員が読んでわかりやすい内容であることが重要です。下記5項目を記入してください。

- (1) 活動概要（活動の全体像がわかるような内容で150字以内）
- (2) 活動動機
- (3) 活動実施・実現方法
- (4) 活動日程・スケジュール（具体的に）
- (5) 活動から期待される効果
- (6) その他アピールなど（書いても書かなくてもよい）

○公平を期すために、必ず所定の枚数に収めるようにして下さい。

3. 活動予算書の具体的な書き方

- (1) フォーマットはホームページからダウンロードするか、下記様式に沿ってEXCEL書式もしくはWORD書式にて自分で作成願います。
- (2) 収入と支出の合計が、同額になるよう作成してください。また、次ページ記入例のように①と②も同額となるよう作成してください。
- (3) 助成を希望する費用については、「*」を付して金額を記入してください。
- (4) 支出費目で、「飲食費」「打ち上げ費」「懇親会費」など活動に直接関係のない支出は、助成対象になりません（予算報告書提出後、職員が領収書を全てチェックします）。
- (5) 支出費目で何に支出したのか分かりづらいものは、下欄に説明を加えてください。
(例) 通信費…参加者への案内状発送（郵送）、および会場への機器送付（宅配便）

記入例

2012年●月 ●日

法政大学総長殿

法学部 法律学科 3年 X組

学生証番号 00A0000

氏 名 法政 太郎

学生チャレンジ・サポート活動予算書

大学受付No.	記入しない	(単位：円)			
収 入		支 出		助成を希望する費用	
① 助成金	100,000	通信費	24,000	* 30,000	
寄付	50,000	文献費	35,000	* 20,000	
個人負担	100,000	交通費	110,000	* 20,000	
		宿泊費	60,000	* 20,000	
		雑費	21,000	* 10,000	
合計	250,000	合計	250,000	②	100,000

【備考】 費目等で分かりにくいところは、下欄で補足説明してください。

■助成金の給付と返還について

- ・ 厳正な審査のうえ、採用された企画に対して企画実施に必要な助成金を給付します。
- ・ 採用順位により、助成希望金額の全額が支給されない場合があります（2011年度市ヶ谷例：100%支給4名、70%支給5名、50%支給6名）。
- ・ 助成金の振込は、大学側が提出を義務付けている書類を提出した時点で振込いたします。振込の事務手続は、提出日から2週間程度要します。「振込日を早めてほしい」といった要望は一切受け付けません。また書類不備の場合は、振込時期が遅れますのでご注意ください。
- ・ 採用者全員に企画実施の義務が生じます。万一、企画が実施されなかったり、活動後に助成金の残金が生じたりした場合は、当該金額を大学に返還しなければなりません。
- ・ 採用者全員は2013年3月末までに「活動報告書」と「会計報告書」を提出する義務も生じます。両報告書を提出できない場合は、助成金額全額を大学に返還しなければなりません。

以 上

昨年度採用例（2011年度）

	氏名	活動 総数	学部	学科	学年	活動総称
市 ヶ 谷	金子 修平	17名	デザイン工	建築	4	vegehouse 農家さんへ建築学生からの贈物
	土橋 泉	14名	デザイン工	建築	4	北海道ガーデンショー出展作品「森の蜃気楼」制作活動
	海老原 翔太	14名	デザイン工	建築	4	源流小菅村＊家づくり～木の切り出しからできあがりまで～
	吉岡 優一郎	16名	経済	国際経済	3	SEET(Shiroyama Enviroment Education Training) 城山高校における環境教育活動
	図師 和晃	11名	デザイン工	建築	4	浦川原区活性化―手形スタンプワークショップ―
	佐野 友洋	1名	国際文化	国際文化	4	佐野さんケニアなう。ムクルラム、図書室プロジェクト
	中村 永徳	2名	経営	経営	3	Little IWAKI ～学園祭発。学生によるいわき応援プロジェクト～
	中村 登	11名	人間環境	人間環境	4	伊豆大島における新しい地域活性化の可能性～ワークショップ MIRAI～
	藤野 太一郎	2名	法	国際政治	3	Cycle Beyond the Borders ～マウンテンバイクで繋ぐ、子どもの未来～
	石田 雄亮	4名	デザイン工	システム デザイン	2	SD 学科の概念を伝える ～1/5 スケールハイブリッドカーの製作～
	三角田 綾香	19名	文	日本文	3	落語研究会被災地慰問
	村田 友作	3名	国際文化	国際文化	3	日本の司法と大学生 ～米軍統治下の沖縄と現在の日本の裁判制度～
	小田 夏美	10名	デザイン工	建築	4	第5回 奏 ―外濠水上コンサート―
	武藤 郁美	3名	キャリア デザイン	キャリア デザイン	3	しごと VISION
白井 真理子	9名	デザイン工	建築	4	旧有島商店街 ～魅力発見地図ワークショップ～	
多 摩	久保 開智	31名	スポーツ 健康	スポーツ 健康	3	ライフセービングにおける「教育」活動
	近葉 善郎	16名	社会	社会 政策科	4	多摩キャン生の、多摩キャン生による、多摩キャン生のための フリーペーパー『Monthly Tama Campus』特別号の制作 ～第二弾～
	小島 渉	6名	社会	社会	4	子どもによるフランス人留学生のための将棋イベント
	稲森 健太	18名	現代福祉	福祉 コミュニティ	2	心つながる雪物語 ～第7弾～
	千葉 雄基	5名	現代福祉	福祉 コミュニティ	2	キンボールの大きなボールでつなぐ、大学と地域
小 金 井	来栖 慎一郎	42名	生命科	生命機能	3	小金井キャンパスの緑化
	菊地 毅	16名	理工	機械工	3	人間とロボットのコミュニケーションの探求
	中村 聡志	23名	理工	機械工	2	鳥人間コンテスト出場を目標とした滑空機の設計と製作
	光岡 祐希	3名	生命科	生命機能	2	緑の癒し効果 ～植物セラピー～
	森山 成仁	13名	理工	電気電子	4	実環境下で高齢者を支援する自律電動車いすの研究・開発
	深津 亜里紗	29名	生命科	環境 応用化	3	あぐり culture2011 ～5つの活動から見る都市農業～